令和7年度決算

令和7年度は、『誰もが輝く希望に満ち溢れた未来創造型予算』として位置付け、「子ども・子育て支援」、「高齢者生きがい」、「安心安全な生活基盤強化」、「活力ある地方創り」、「GX・DX推進」をキーワードに、事業を実施しました。

問 財政課 TEL (36)5750・FAX (32)3237

詳しい内容は市ホームページで
HP 42505

決算は、9月の市議会第3回定例会に上程し、決算特別委員会で審議されたのち、12月の第4回定例会で認定予定です。

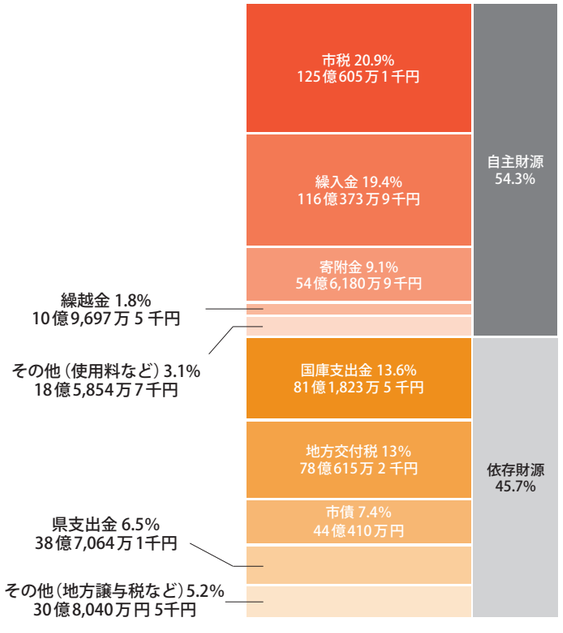
各会計の決算は、次の通りです。

会計			歳入	歳出
普通会計			598億665万4千円	574億8,393万4千円
普通会計	一般会計		597億8,000万5千円	574億5,758万9千円
公営事業会計	特別会計	文化会館事業	1億719万4千円	1億689万円
公営事業会計	特別会計	国民健康保険	73億9,199万1千円	73億7,958万円
公営事業会計	特別会計	後期高齢者医療	13億8,902万6千円	13億8,492万2千円
公営事業会計	特別会計	介護認定審査会共同設置事業	3,489万1千円	3,489万1千円
公営事業会計	特別会計	介護保険事業（保険事業勘定）	69億8,804万円	68億9,886万7千円
公営事業会計	特別会計	介護保険事業（サービス事業勘定）	1,272万4千円	1,181万4千円

（普通会計間の取引経費は重複するため、控除して集計しています）

公営企業会計	収益	費用
病院事業会計	165億5,421万1千円	172億5,245万2千円
水道事業会計	16億7,608万3千円	15億2,817万4千円
下水道事業会計	20億558万3千円	19億1,448万2千円

歳入総額 598億665万4千円　574億8,393万4千円 歳出総額



POINT

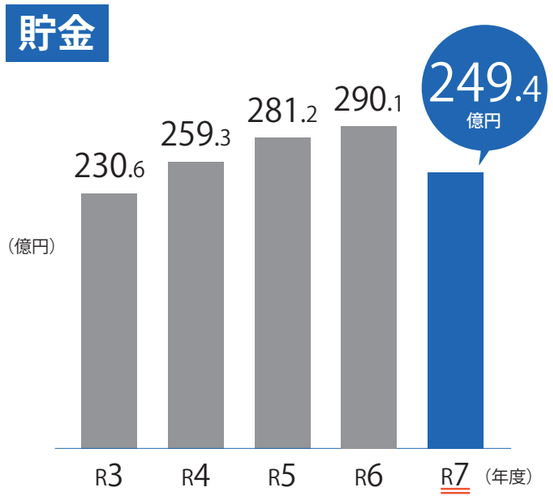
新市庁舎や安土コミュニティエリアなどの大型施設整備を進めるとともに、GIGAスクール構想における児童生徒1人1台端末の更新や国スポ・障スポ大会を実施したことにより、決算規模は過去最大となりました。

お金のやりくり

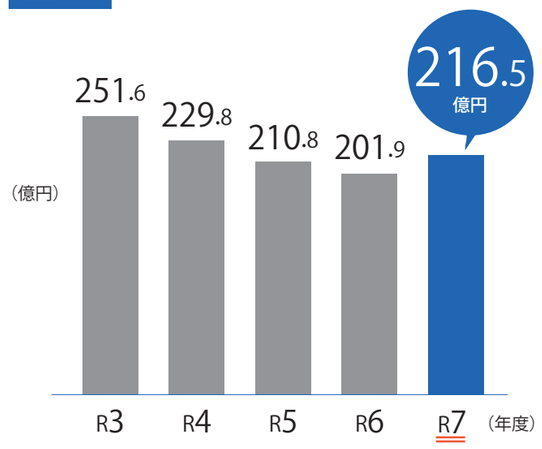
貯金と借金

貯金と借金は、中期財政計画に取り組み目標を定めており、毎年度の決算状況を踏まえながら、将来を見据えた財政健全化に継続して努めています。

貯金



借金

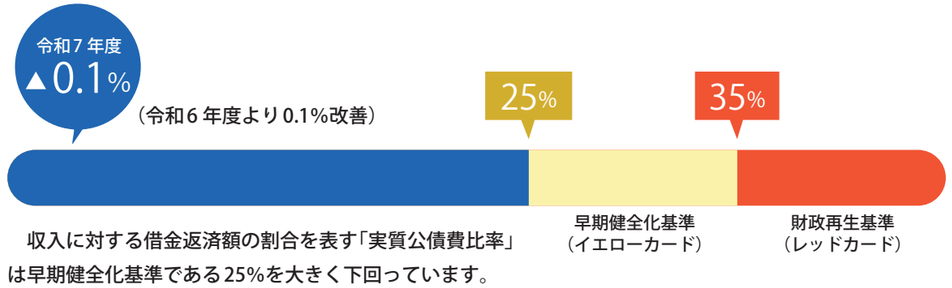


これまで基金の積み立てや市債発行の抑制に努めてきた成果により、新市庁舎整備や安土コミュニティエリア整備などに基金を活用し市債を発行したものの、ふるさと応援寄附金を積み立てることで基金（貯金）を確保したほか、繰上償還などを実施し、市債（借金）残高の抑制に努めました。

財政は健全です。

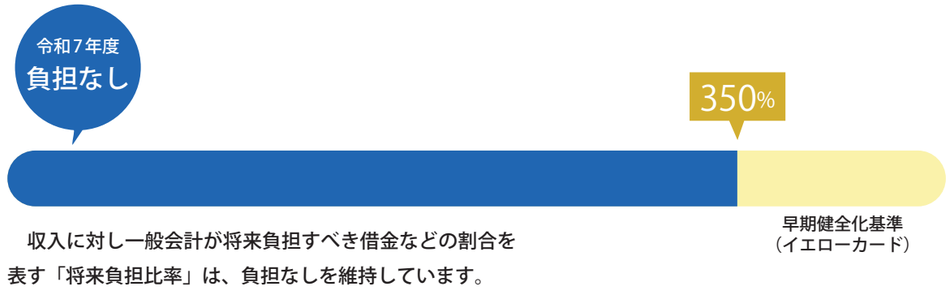
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行により、健全化判断比率などの公表が義務付けられています。各比率とも健全化基準を下回っており、財政状況が健全であることを示しています。

実質公債費比率



収入に対する借金返済額の割合を表す「実質公債費比率」は早期健全化基準である25%を大きく下回っています。

将来負担比率



収入に対し一般会計が将来負担すべき借金などの割合を表す「将来負担比率」は、負担なしを維持しています。

1年間の成果

令和7年度もさまざまな事業を実施しました。その一部をご紹介します。

新しい庁舎の整備
40億5,455万9千円

新市庁舎整備工事は、内装・外構工事、各種備品の整備などを行い、1月から供用を開始しました。



文化会館の整備
8億9,959万5千円



大ホール天井の耐震化や外壁・外構の刷新を行い、施設の安全性を強化しました。また、空調設備の更新や都市ガスへの切替による効率化を図るとともに、時代のニーズに応えるべく、トイレの改修やエレベーターの設置、最新の音響設備の導入を行い、バリアフリー化と利便性向上を図りました。これらの工事を経て、令和7年9月1日にリニューアルオープンしました。

第79回国民スポーツ・第24回全国障害者スポーツ大会運営
4億3,751万6千円

国民スポーツ大会のうち、正式競技のバレーボール、ハンドボール、軟式野球、トライアスロンに加え、公開競技の綱引および障害者スポーツ大会のバレーボール会場を運営しました。大会期間中は、本市独自の「おもてなし事業」として飲食物の振る舞い、拒火（きょか）イベントなどを実施し、来訪者へ本市の魅力を発信するとともに、市民との交流を促進しました。



家計応援商品券の配布
3億6,286万8千円



エネルギーや食料品などの物価高騰対策として、全市民を対象に、市内の登録店舗で利用できる「家計にプラス“たすカル”チケット」を1人あたり4,000円分配布しました。

ふるさと納税

全国からいただいた「ふるさと応援寄附金」を活用した事業の一部を紹介します。

安土コミュニティエリア整備
17億8,664万6千円
内ふるさと応援寄附金　2億1159万7千円



安土コミュニティエリア造成工事に着手するとともに、小学校、地域防災センター（コミュニティセンター）、こどもの家に係る各施設の基本・実施設計業務を完了しました。

北里学区認定こども園整備
4億2,232万2千円
内ふるさと応援寄附金　9400万2千円



旧看護専門学校を改修し、新たなこども園を設置しました。本施設は、市が改修工事を行い、民間法人が運営を担う「公私連携幼保連携型認定こども園」として整備しました。

都市公園施設長寿命化
4億1,074万円
内ふるさと応援寄附金　3億5679万9千円



主に中村児童公園を対象とした再整備を実施しました。この整備により、特色ある、利用しやすく安全で快適な公園になりました。今後も計画に基づき、都市公園の整備を進めていきます。

中学校部活動強化支援
7,800万2千円
内ふるさと応援寄附金　7322万9千円



中学生の部活動を保証するために、「部活動主事」を配置し、連絡調整や部活動指導員の研修・採用体制を整備しました。さらに備品や施設の整備、小学校との連携により、持続可能で魅力的な環境づくりに取り組みました。

市民バス運行事業
3,535万4千円
内ふるさと応援寄附金　1467万7千円



あかこんバスの利便性向上に向け、交通系IC決済、リアルタイムのバスロケーションシステム、主要停留所への電子看板を導入しました。さらに、回数券を利用する人の利便性を考慮し、市役所に自動券売機を設置しました。

自治会活動への支援
1,196万8千円
内ふるさと応援寄附金　1139万8千円



自治会に対して、自治会館の改修や広場の整備、防犯灯・防犯カメラの設置、省エネ家電（エアコン、冷蔵庫など）の買い替え、ゴミステーションの設置・改修費などを助成することにより、脱炭素の推進と持続可能な自治会活動を支援しました。